

事業所名

チャイルドサポート こばん

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

12 月

27 日

法人（事業所）理念	支援の必要な人が、その年齢に応じた経験と出会いの中で成長し、生きがいもち市民としての尊厳を守られ、最後まで安心して暮らし続けられる街をつくります						
支援方針	遊びやいろいろな活動を通じて「楽しむ」「経験する」「関心を持つ」「交流する」「好きなことを見つける」等の本人支援を主に、家族支援や移行支援も含めて総合的にお子さんに応じた育ちのサポートを行います。						
営業時間	月～金	13 時	0 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり（土・長期休みは原則なし）
	土・長期休み	9 時	0 分から	16 時	0 分まで		
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	①健康状態の維持・改善（体調観察、必要時検温 体を使った活動で健康な体作り） ②生活のリズムや生活習慣の形成（トイレ・おやつ・食事・着替えなど日課の声掛け 手洗い支援 休息支援） ③基本的な生活スキルの獲得（トイレ動作支援・見守り、自助具を使った食事支援、気温や季節に応じた衣類調整、履物・上着・衣類の着脱支援・見守り、荷物の管理支援・身の回りの整理整頓支援、掃除・鉛筆削り・洗濯干し・食器洗い片づけ・水やり支援） ④生活におけるマネジメントスキルの育成（こばんでの予定や過ごし方を一緒に考える、個別の視覚的なスケジュール、活動内容の視覚的な提示）					
	運動・感覚	①姿勢・バランスや運動・動作の基本的技能の向上（着席時の姿勢確認 プレイルームで体動かす遊び トランポリン） ②姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用（姿勢保持の為に各種椅子座位保持装置を準備 理学療法士から姿勢や運動に関するアドバイス） ③身体の移動能力の向上（必要に応じて歩行器による支援 歩行時の支え） ④保有する感覚の活用・手指機能や身体コントロールの向上（粘土創作、スライム作り、水遊び、トランポリン、バランスボール、ターザンロープ、風船遊び、ダンス、ボールを使った運動、鬼ごっこなど） ⑤感覚の補助及び代行手段の活用（カード・イラストを用いた情報提供） ⑥感覚の特性への対応（写真や色を使った掲示板で活動場所を提示 聴覚過敏に対応できる個室 半個室空間で視覚的な刺激の少ない環境を作る）					
	認知・行動	①認知の特性についての理解と対応（日課や活動を写真・絵カードで伝える、献立情報提供、食事内容の相談） ②対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ・認知や行動の手掛かりとなる、数量、大小、色などが習得できる活動や遊びの実施（粘土・アイロンビーズなど創作活動、パズル、マッチング、プリント） ・情報を聞いて、行動へつなげるというゲームや活動の実施（創作活動やおやつ作りでの手順書 ジェスチャーゲームなど） ③行動障害への予防及び対応 ・視覚的な個別スケジュール タイムタイマーを使って視覚的に時間を伝える 個室の活用 動機を持って取り組める活動・予定 トークンシステム イレギュラー時の予告					
	言語コミュニケーション	①コミュニケーションの基礎的能力の向上（発語や身振りを使った挨拶のやり取り 文字やカードによるコミュニケーションの支援） ②言語の受容と表出（活動や日課を通して実際の会話での言葉の使い方の支援 名詞・動詞・気持ちのプリント） ③言語の形成と活用（クリスマス会、夏祭り、進級式などで発信の機会を作る 集団活動での子ども同士のやり取りの仲介・支援） ④人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（創作活動、トランプ、カードゲームなどルールのある集団での遊びや活動） ⑤コミュニケーション手段の選択と活用（写真や絵カードの準備 文字によるやり取りの提示 ジェスチャー、録音を活用して発信支援） ⑥状況に応じたコミュニケーション（カードゲームやボードゲームなどルールのある遊びや活動、他児への声掛け場面での仲介・支援、言葉の選び方の支援） ⑦読み書き能力の向上（文字を使ったマッチング、プリント、献立表記入、予定表の記入）					

	人間関係 社会性	①アタッチメント(愛着)の形成と安定 (励ましや前向きな声掛け、出来たことや成長したこと共有する、成長をみんなで認めて合う 自己選択・決定の場を作る 一緒にやってみる) ②情緒の安定(言葉に出したり文字で表したり支援することで気持ちの理解につなげる、環境や場面を変えて気持ちを整える) ③他者との関わり(人間関係)の形成(創作活動や集団活動を通して楽しみながら協調性ややり取りを学ぶ、他者との共感の経験を育む) ④遊びを通じた社会性の発達(役割遊びやシチュエーション遊びを通して適切な言葉や行動を学ぶ、役割やルールのあるゲームや遊びで社会性を学ぶ) ⑤自己理解や役割認識による行動の調整(手伝いや役割を通して達成感を得る・感謝を伝える 遊びや体験を通して得意や苦手を知る支援) ⑥仲間づくりと集団への参加(挨拶や自己紹介、感謝や謝罪などの表現を日常的に支援する 集団活動への誘い・仲介)		
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・利用中に気になることがあれば保護者に報告し、家庭での様子を伺います。 ・育児や発達の相談に対応します。 ・安心した育児のため、家族関係の相談や家族への精神的なサポートを行います。 ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築に努めます。 ・定期的にきょうだい児向けのイベントを開催します。 ・母親の就業継続のためのサポートを行います。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路に向けて各関係機関と連絡調整を図ります。 ・学校との連携をはかり、支援体制を構築していきます。 ・地域の施設への外出や買い物などを通して、地域社会で必要なスキルや交通ルールを学ぶ機会を作ります。
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、福祉サービス等と連絡を取ったり会議等を行って情報共有していきます。 ・図書館や体育館など、地域の公共施設を利用し、地域資源の活用の仕方やマナーを学ぶ機会を作ります。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回以上の外部研修を受講し、こどもの特性に応じた対応など、職員の資質向上に努めていきます。 ・内部研修や勉強会を実施します。
	主な行事等	進級を祝う会 夏祭り ハロウィン クリスマス会 卒業を祝う会など 外出(おとぎの森、図書館、体育館、近隣への散歩など) おやつ作り		